

## 1. 略歴

1990年3月	東京大学大学院社会学研究科社会学修士課程修了
1995年	東京大学大学院社会学研究科社会学博士課程単位取得退学
1995年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助手
1995年	専修大学文学部社会学科非常勤講師
1996年	富山大学人文学部非常勤講師
1998年	徳島大学総合科学部非常勤講師
1999年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座講師
1999年	信州大学人文学部人間情報学科非常勤講師
2000年	筑波大学第一学群社会学類非常勤講師
2001年	岡山大学文学部行動科学科社会学・文化人類学講座助教授
2002年	信州大学人文学部人間情報学科文化情報論講座助教授
2005年	名古屋大学大学院国際多元文化専攻ジェンダー論講座非常勤講師
2006年	東京大学大学院人文社会系研究科社会学専門分野准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

社会問題の社会学  
歴史社会学

### b 研究課題

セクシュアリティの歴史社会学  
少子化社会論  
人口減少社会論  
社会問題の構築主義アプローチ

### c 概要と自己評価

概要:以下の領域を中心に研究を進めている。

- (1) 社会問題プロセスの理論化
- (2) 近代日本におけるセクシュアリティをめぐる言説の変容
- (3) 人口減少社会を前提とした制度設計・社会構想
- (4) 社会関係資本の測定を基盤にした地域再生

自己評価

(1) に関しては、少子化対策や有害コミック規制などの具体的な社会問題を取り上げ、その言説や政策の形成プロセスに関する理論形成を試みている。(2) に関しては、明治期初頭の性科学書『造化機論』の翻訳過程を追尾している。(3) については、少子化対策をやめて、人口減少を前提とした年金制度、経済成長、都市-農村間の財・サービスの分配などに関する論文をいくつか執筆した。(4) については、集落・村落レベルで社会関係資本を測定し、それが地域社会の持続可能性を生み出すかいなかに着目した研究を継続している。

### d 主要業績

#### (1) 著書

- 単著、赤川学、「千葉繁の半生:『造化機論』の翻訳に至るまで」『東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要』第27号、p.97-111、2014.3
- 単著、Manabu Akagawa “Regulating Pomocomic Sales to Juveniles in Japan: Cycles and Path-Dependence of a Social Problem” *Qualitative Sociology Review*, Apr 2015, Vol. 11(2), p.62-73.
- 単著、赤川学、「ことばは社会と文化をどのようにつくり変えるのか——社会問題の構築」唐沢かおり・林徹編『人文知1 心と言葉の迷宮』139-162頁、東京大学出版会、2014.7
- 単著、赤川学、『明治の「性典」を作った男』筑摩書房、2014.9
- 単著、赤川学、「家族の多様性と社会の多様性—少子化をめぐる」大澤真幸編『岩波講座現代7: 身体と親密圏の変容』189-210頁、岩波書店、2015.12

(2) 学会発表

国際、Akagawa Manabu, "Comparing "harmful publication" issue with 'non-existent youth' issue: from a perspective of natural history model of social problems," ,XVIII ISA World Congress of Sociology, RC34, Sociology of Youth, Pacifico Yokohama、2014.7.17

国際、Akagawa Manabu, "The Construction and Transformation of Low Birthrate Issues in Japan since 1990s", Society for the Study of Social Problems 2014 Annual Meeting, Session 139、Hotel San Francisco、2014.8.17

国際、“Toward a sociological theory of declining birthrates”, SNU-UT JointForum 2014, 2014.11.15(Sat.), Seoul National University.

国内、赤川学、「進撃の高田保馬—その少子化論の悪魔的魅力」第10回社会学理論学会・一般報告4、2015年9月5日、立教大学。

国内、赤川学、「高田保馬の少子化論——社会学の巨人に学ぶ」第88回日本社会学会大会・一般研究報告、2015年9月19日、早稲田大学。

国際、Akagawa Manabu, “Yasuma Takata's Theory on Declining Birthrates: Standing on the Shoulder of a Japanese Giant of Sociology”, 13th East Asian Sociologists' Network Conference 2015.11.14(Sat.), Yokohama National University

国内、赤川学、「『善い社会』イメージの多様性とその規定因」第1回質的調査連絡会、2016年3月4日、東京大学。

**3. 主な社会活動**

(1) 他機関での講義等

立教大学社会学部非常勤講師、2014～15年

立教大学大学院教育学研究科非常勤講師、2015年

(2) 学会

国内、日本社会学会、理事、2015.9～2018.9